

## 令和5年度 外国語科 授業改善推進プラン

大田区立入新井第一小学校

### 1 大田区学習効果測定の結果分析

#### (1) 達成率（経年比較）

- 目標値と比較して±5ポイントを基準として≒で表す。  
基準を上回るものを△、下回るものを▽で表す。

	領域	令和5年度	令和4年度	令和3年度
第6学年	聞くこと	△	≒	△
	読むこと	△	≒	△
	書くこと	≒	≒	△

#### (2) 分析（観点別）

##### ① 定着が図られた領域

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常会話の理解（聞くこと） 身近で簡単な事柄について対話を聞き、その内容を理解できている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会話全体の理解（聞くこと） 日常生活に関する対話を聞き、目的や場面、状況などを推測することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英文の完成 自分の好きな教科名を書くことができている児童は、外国語科への意欲が高い。</li> </ul>

##### ② 課題のある領域

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・アルファベットの書き（聞くこと） 音声を聞き、活字体の大文字を正しく書くことが課題である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英作文 例文を参考にしながら、身近な人について、簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことが課題である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英作文 簡単な語句や基本的な表現を用いて英作文を書くことが苦手な児童は、外国語科に苦手意識がある。</li> </ul>

### 2 昨年度の授業改善推進プランの検証

#### (1) 昨年度の課題について

外国語に関しては5・6年ともに興味関心が高く、まじめに取り組む児童が多い。外国語の文化に親しむ児童が大半であるが、英語は難しいとすでに苦手意識をもっている児童もいる。コミュニケーションに関しては、語彙力が少なく、場や相手を意識して話すことができていないことがある。また、自分の思いや感情を上手く表現することができない児童もいる。外国語を通して、言葉を理解するだけでなく他国に興味をもち、一つのコミュニケーションの手段として相互理解を図る力を育てるようにしていきたい。

#### (2) 今年度の課題について

- ・大田区学習効果測定の結果から、英作文を書く力が、平均正答率をやや下回っている。
  - ・英単語（動詞）を正確に理解しない児童がいる。
- デジタル教科書を活用することで、視覚だけではなく聴覚からも基礎的な語彙を定着させる。英作文では、子供が穴埋めをすれば英作文を組み立てられるようなワークシートを作成することで、苦手意識がある児童の心理的不安を低減させる。

### 3 授業改善のポイント（観点別）

#### （1）高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"><li>・文構造が英語と日本語では違いがあることを理解させ、コミュニケーションの基礎を養う。</li><li>・デジタル教科書を活用することで、視覚だけではなく聴覚からも基礎的な語彙を身に付けさせる。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・教科書の見本となる音声を聞かせ、英単語の意味と英文のつくりを意識させる。</li><li>・子供が穴埋めをすれば英作文を組み立てられるようなワークシートを作成する。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・児童に英語で話したり、書いたりするアクティビティを通して、自信をもたせ、主体的に学習に取り組む態度の育成を目指す。</li><li>・最終目的を意識させた上で、そこにたどり着くまでの語彙や表現を獲得し、いよいよ場面を設定する。</li></ul>